



## Broaden your horizons 64 ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。

小学生の娘が、学校からのアナウンスで漢検を受けます。現在3級なのですが、パソコンと携帯を使う私はすっかり漢字が分からなく、娘に聞く始末……(汗)。日本人として心を入れ替えるため、漢字から読み解く薬剤師を考えてみたいと思います!

「漢字とは古代中国で作られた文字体系で象形、指事から発達してきた表意文字である。紀元前十数世紀の殷(いん)の時代から用いられている」(広辞苑)——。フムフム。象形とは物の形を真似る、写し取る、似せること、指事とは事柄や数など抽象的な概念を象徴的に記号化して字形とする方法なのだとか。へえ〜。

それでは、私たちが扱う「薬」の字から見てみましょう。「薬」の上半分は有名な草かんむりです。これは草根木皮、つまり漢方薬を意味します。草かんむりの下の「楽」の旧漢字は「樂」と書きます。これは、巫女が神前で手鈴を振って舞っている姿を表す象形です。つまり、巫女による病気平癒のお祓いとともに草根木皮を服用させて病気を治すものを「薬」と書くようになったのです。

次に「劑」の左半分は「揃える」、そして右半分は「刀」を意味します。つまり、草根木皮を同じ大きさに切り揃え、飲みやすいように一包ずつ分包するという象形です。最後に「師」は、「専門家」を意味します。したがって、「薬剤師」とは薬の効果、作用を熟知した上で、適切に調合する専門家ということが漢字から読み解けます。

江戸時代までは、医師が自ら患者の目の前で薬を調合していたので、「薬を用いる」の他動詞として医師のことを「くすし」とも呼んでいました。人類の歴史が始まって、約5000年といわれていますが、「医学」といえるものの歴史は100年くらいしかありません。江戸時代までは、貴人が病気になった場合、祈祷師が護摩を焚いて平癒を必死で祈願したり、巫女が神前で御神楽を舞って祈願したりしていました。根本的治療は……? (苦笑) エビデンス(化学的根拠)が重要視される現在からは考えられないですね。

漢字から「過去の薬剤師」を読み解きましたが、私たちは「未来の薬剤師」とともに読み解いていきましょう!